

JPMワールド・CB・オープン

第 50 期 運用報告書（全体版）

（決算日：2026年7月30日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「JPMワールド・CB・オープン」は、去る7月30日に第50期の決算を行いました。

当ファンドは世界各国の転換社債(CB)を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的とします。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／内外／その他資産(転換社債)	
信託期間	無期限です。	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて世界各国の転換社債(CB)を中心に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資 (運用)対象	当ファンド	GIMワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	日本を含む世界各国の転換社債(CB)を主要投資対象とします。
組入制限および 運用方法	当ファンド	ファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて運用を行います。 外貨建資産への実質投資には、制限を設けません。 また株式への実質投資割合は純資産総額の30%以下とします。
	マザーファンド	転換社債(CB)への投資にあたっては、投資地域分散をはかりながら、価格水準、株価との連動性等の投資効率、発行企業の成長性および安定性等を総合的に分析し、魅力的な銘柄を選定します。加えて弾力的に為替ヘッジを行うことにより、主として為替変動による基準価額の下落リスクを軽減させることを目指します。 株式(ワラントを含みます。)への投資割合は、ファンドの純資産総額の30%以下とします。同一銘柄の株式への投資割合は、取得時においてファンドの純資産総額の10%以下とします。同一銘柄のCBへの投資割合は、ファンドの純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資には、制限を設けません。
分配方針	毎年2回(原則として1月30日、7月30日)決算日に基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は分配を行わないことがあります。	

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIMワールド・CB・オープン・マザーファンド」は「ワールド・CB・オープン・マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

<お問い合わせ先>

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

ホームページアドレス am.jpmorgan.com/jp

TEL 03-6736-2350（受付時間は営業日の午前9時～午後5時）

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			FTSEグローバルCBインデックス (為替ヘッジなし、円ベース)		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	優 先 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 配 金	期 騰 落 率		期 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
46期(2024年7月30日)	7,742	20	△0.1	53,796	8.1	92.4	2.9	11,797
47期(2025年1月30日)	7,970	30	3.3	59,246	10.1	95.9	1.2	11,095
48期(2025年7月30日)	8,282	30	4.3	62,740	5.9	97.9	1.0	11,005
49期(2026年1月30日)	8,866	40	7.5	75,270	20.0	94.5	1.4	9,531
50期(2026年7月30日)	9,222	40	4.5	81,509	8.3	95.7	1.7	9,440

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。
(注) FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、当ファンドの投資対象市場の動きを示すものであり、当ファンドのベンチマークではありません。(以下同じ)。
(注) FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。
(注) FTSEグローバルCBインデックスは、LSEG(「ロンドン証券取引所グループ」)が発表しており、著作権はロンドン証券取引所グループに帰属しております。FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、同社が発表したFTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、米ドルベース)を委託会社にて円ベースに換算したものです(以下同じ)。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		FTSEグローバルCBインデックス (為替ヘッジなし、円ベース)		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	優 先 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首)	円	%		%	%	%
2026年1月30日	8,866	—	75,270	—	94.5	1.4
2月末	9,039	2.0	77,202	2.6	95.3	1.4
3月末	8,603	△3.0	73,624	△2.2	95.4	1.5
4月末	8,994	1.4	81,287	8.0	96.3	1.5
5月末	9,234	4.2	86,233	14.6	93.6	1.4
6月末	9,295	4.8	85,964	14.2	94.1	1.7
(期 末)						
2026年7月30日	9,262	4.5	81,509	8.3	95.7	1.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、期首の基準価額は分配金落後です。また騰落率は期首比です。
(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。
(注) FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。

投資環境

◎CB市況

世界のCB市場動向を表すFTSEグローバルCBインデックス(米ドルベース)は、前期末比で上昇しました。

- ◆期首から5月にかけては、米英のポジティブな経済データやインフレ圧力の低下などが支援材料となったほか、AI(人工知能)関連銘柄への期待や中東における地政学リスクの緩和観測などを背景に、上昇しました。
- ◆6月以降は、AI関連銘柄の割高感やFRB(米連邦準備制度理事会)議長のタカ派的な発言、米国・イラン間の緊張の高まりなどを受けて投資家の慎重姿勢が強まり下落する局面がありましたが、期を通して見ると上昇しました。

◎為替市況

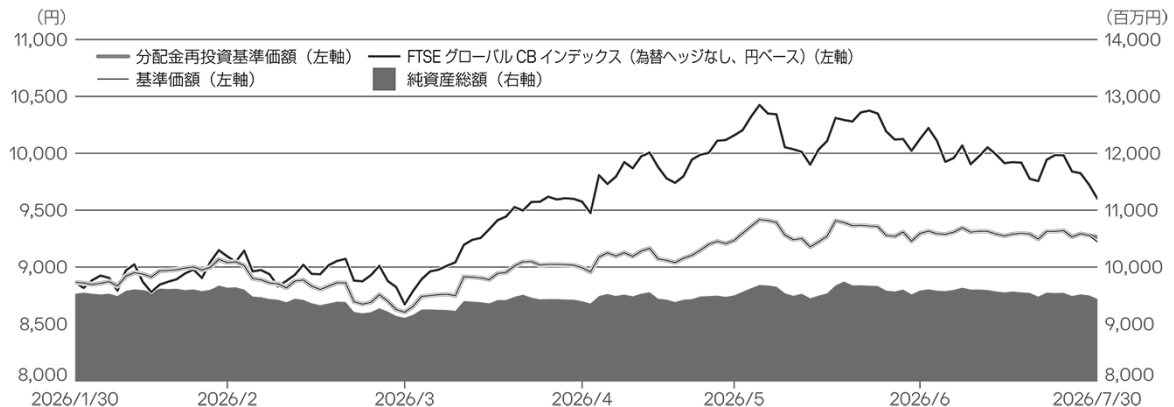
為替市場は、当期において米ドルなど主要投資通貨は対円で上昇しました。

運用経過の説明

◎基準価額の推移

○当ファンド: 基準価額(税引前分配金再投資)の騰落率は+4.5%となりました。

○組入ファンド: マザーファンドの基準価額の騰落率は+9.3%となりました。



(注) 基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです(以下同じ)。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません(以下同じ)。

(注) 分配金再投資基準価額およびFTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

◎基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れた結果、マザーファンドにおいて、保有有価証券の売買益や主要な米ドルやユーロなどの投資通貨が対円で上昇したことなどが基準価額を押し上げました。

◎ポートフォリオについて

○当ファンド

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。

○マザーファンド

セクター別では、テクノロジーや資本財などがプラスに寄与した一方で、コミュニケーションや金融などはマイナスに寄与しました。各国・地域別では、北米、欧州、日本への投資はパフォーマンスにプラスに寄与しましたが、アジア（除く日本）への投資はマイナスに寄与しました。

◎分配金

基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、1万口当たりの分配金は40円（税込）としました。留保益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込）

項 目	第50期
	2026年1月31日～ 2026年7月30日
当期分配金	40
（対基準価額比率）	0.432%
当期の収益	40
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	385

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）円未満は切捨てです。当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

◎今後の見通し

- ◆2026年はこれまでのところ経済・地政学イベントが相次いでおり、中東情勢の見通しについては不確実性が高いものの、多くの主要関係者にとって緊張緩和のインセンティブが強いと見られ、近い将来沈静化に向かうと考えられます。仮に中東情勢が更に悪化した場合においても、2026年はグローバルの利益成長が堅調な年になるとの見方を維持しており、すべての地域の主要産業グループにおいて利益成長が広がると見込んでいます。
- ◆米国においては、マグニフィセント7（米国株式市場を牽引する主要テクノロジー関連企業であり、具体的にはAlphabet、Amazon、Apple、Meta、Microsoft、NVIDIA、及びTeslaの7社を指します。）の利益成長も引き続き健全なペースが見込まれ、同時にこのグループが足元の近い将来の予想の上方修正の主因となっている一方で、これら以外のS&P 500構成企業についても、ここ数年は相対的に伸びが限られていたものの、2026年は堅調な利益成長が見込まれます。
- ◆米国以外では、新興国市場の企業利益が2026年に力強く伸びると見ており、主に韓国・台湾およびテクノロジーセクターが牽引すると考えています。日本は、資本効率や株主還元への注力が着実に高まっていることに支えられ、2026年も堅調な成長が期待されています。また、欧州は昨年、経済ファンダメンタルズ（基礎的条件）が他の地域に後れを取ったものの、改善が見込まれます。長年限定的だった利益成長に関しても、2026年には堅調な推移を見込んでいます。
- ◆多くの業種の企業がAI（人工知能）投資に強い関心を示している一方で、現時点での実現利益はなお限定的と見えています。2026年のマクロ環境は不確実性と変動性が高いことが想定されますが、長期投資家にとって多くの投資

機会が生まれる可能性があります。引き続き、当社グループではこのような変動性が高い環境を活かして株価がファンダメンタルズから乖離した企業を特定し、さらなる魅力的な投資機会に備えています。

- ◆CBは様々な理由から投資妙味が高い資産と考えます。第一に、金利水準、地政学的な緊張、インフレの高まりによる市場の変動性の高まりなどを背景とした資産クラスの割安感から、新規投資の好機となっています。第二に、CBは債券の特性により下落率が抑制される傾向にあることに加え、一般的な債券よりもスプレッドが大きく、デュレーションも短くなっています。また、CBにはオプション(株式に転換する権利)が組み入れられているため、デュレーション・リスクが大幅に低減されます。金利が上昇すると、債券部分は低下しますが、オプション部分の評価が上昇します。

◎今後の運用方針

○当ファンド

マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的として運用を行います。

○マザーファンド

世界各国のCBを主要投資対象とし、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的として運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2026年1月31日～2026年7月30日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 74	% 0.818	(a)信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率
(投 信 会 社)	(34)	(0.382)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、目論見書、運用報告書等の開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0.382)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、交付運用報告書の交付業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.055)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.000	(b)売買委託手数料＝ $\frac{\text{〔期中の売買委託手数料〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$
(優 先 証 券)	(0)	(0.000)	有価証券の取引等の仲介業務およびこれに付随する業務の対価として証券会社等に支払われる手数料
(c) そ の 他 費 用	4	0.045	(c)その他費用＝ $\frac{\text{〔期中のその他費用〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$
(保 管 費 用)	(3)	(0.033)	保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.011)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	78	0.863	
期中の平均基準価額は、9,005円です。			

(注) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

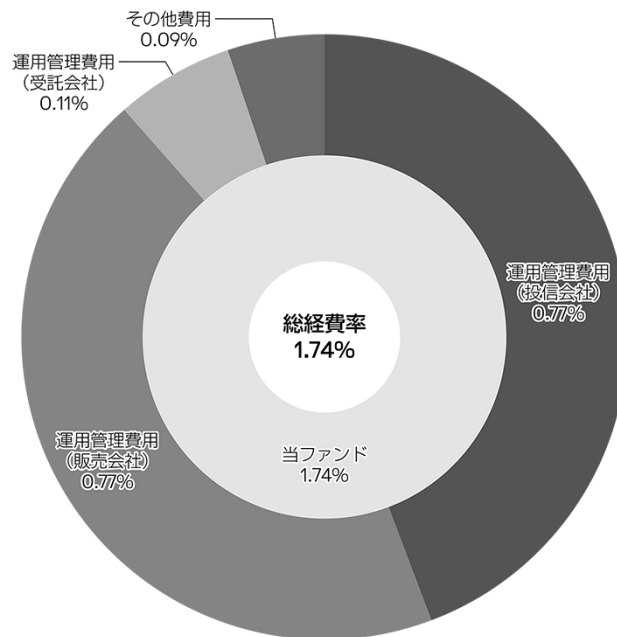
(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.74%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況 (2026年1月31日～2026年7月30日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券	52,394	323,542	187,406	1,139,708

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等 (2026年1月31日～2026年7月30日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2026年1月31日～2026年7月30日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2026年1月31日～2026年7月30日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2026年7月30日現在)

親投資信託残高			
銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券	1,647,589	1,512,577	9,622,868

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2026年7月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券	9,622,868	99.9
コール・ローン等、その他	7,878	0.1
投資信託財産総額	9,630,746	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注) ワールド・CB・オープン・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(8,982,127千円)の投資信託財産総額(9,630,750千円)に対する比率は93.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売相場場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル＝163.51円、1ユーロ＝187.30円、1英ポンド＝218.40円、1スイスフラン＝200.65円、1スウェーデンクローネ＝16.94円、1ノルウェークローネ＝17.04円、1オーストラリアドル＝113.74円、1香港ドル＝20.85円、1シンガポールドル＝126.82円、1南アフリカランド＝9.82円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年7月30日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	15,363,318,044
ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券(評価額)	9,622,868,883
未収入金	5,740,449,161
(B) 負債	5,922,520,132
未払金	5,795,009,318
未払収益分配金	40,950,212
未払解約金	7,877,745
未払信託報酬	77,647,613
その他未払費用	1,035,244
(C) 純資産総額(A－B)	9,440,797,912
元本	10,237,553,215
次期繰越損益金	△ 796,755,303
(D) 受益権総口数	10,237,553,215口
1 万口当たり基準価額(C／D)	9,222円

<注記事項>	
期首元本額	10,749,855,709円
期中追加設定元本額	266,039,687円
期中一部解約元本額	778,342,181円
当期末における未払信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。	
未払受託者報酬	5,176,513円
未払委託者報酬	72,471,100円

○損益の状況 (2026年1月31日～2026年7月30日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	474,987,907
売買益	1,028,979,967
売買損	△ 553,992,060
(B) 信託報酬等	△ 79,119,333
(C) 当期損益金(A＋B)	395,868,574
(D) 前期繰越損益金	△ 20,286,865
(E) 追加信託差損益金	△1,131,386,800
(配当等相当額)	(59,908,366)
(売買損益相当額)	(△1,191,295,166)
(F) 計(C＋D＋E)	△ 755,805,091
(G) 収益分配金	△ 40,950,212
次期繰越損益金(F＋G)	△ 796,755,303
追加信託差損益金	△1,131,386,800
(配当等相当額)	(60,130,565)
(売買損益相当額)	(△1,191,517,365)
分配準備積立金	334,631,497

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。	
(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。	
(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。	
(注) 信託財産の運用の指図に関する権限を委託するために要する費用として、純資産総額に年率0.35%を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しています。	
(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(43,907,228円)、費用控除後の有価証券等損益額(326,786,377円)、信託約款に規定する収益調整金(60,130,565円)および分配準備積立金(4,888,104円)より分配対象収益は435,712,274円(10,000口当たり425円)であり、うち40,950,212円(10,000口当たり40円)を分配金額としております。	
(注) 当期における信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。	
受託者報酬	5,176,513円
委託者報酬	72,471,100円

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	40円
------------------	-----

課税上の取扱いについて ●普通分配金に対して、個人の受益者については、配当所得として20.315% (所得税および復興特別所得税15.315%、ならびに地方税5%)の税率で課税されます。なお、外国税額控除の適用となった場合、分配時の税金が前記と異なる場合があります。法人の受益者の場合、前記とは異なります。元本払戻金(特別分配金)は課税されません。 ※上記は2026年7月末現在適用されているものです。税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になる場合があります。詳しくは税務専門家(税務署等)にお問い合わせください。

<約款変更のお知らせ>

- ・2026年4月1日付で、一般社団法人 投資信託協会と一般社団法人 日本投資顧問業協会は合併し、一般社団法人 投資信託協会は、一般社団法人 資産運用業協会に名称が変更されたため、信託約款に所要の変更を行っております。

GIMワールド・CB・オープン・マザーファンド

第 25 期 運用報告書

(決算日: 2026年1月30日)
(計算期間: 2025年1月31日～2026年1月30日)

法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第25期の運用状況をご報告申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
運 用 方 針	世界各国の転換社債(CB)を中心に投資し、信託財産の着実な成長を図ることを目的として運用を行います。
主 要 運 用 対 象	日本を含む世界各国の転換社債(CB)を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資には制限を設けません。また、株式への投資割合は純資産総額の30%以下とします。

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIMワールド・CB・オープン・マザーファンド」は「ワールド・CB・オープン・マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		FTSEグローバルCBインデックス		新株予約権付社債 (転換社債) 組 入 比 率	優 先 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
	円	騰 落 率	(為替ヘッジなし、円ベース)	騰 落 率			
21期(2022年1月31日)	40,067	△ 2.5	39,627	1.2	89.4	6.1	11,033
22期(2023年1月30日)	39,188	△ 2.2	41,727	5.3	88.6	5.6	13,078
23期(2024年1月30日)	45,163	15.2	49,775	19.3	93.9	2.2	12,781
24期(2025年1月30日)	49,254	9.1	59,246	19.0	95.4	1.2	11,149
25期(2026年1月30日)	58,222	18.2	75,270	27.0	93.8	1.4	9,592

(注) FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、当ファンドの投資対象市場の動きを示すものであり、当ファンドのベンチマークではありません。(以下同じ)。

(注) FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。

(注) FTSEグローバルCBインデックスは、Refinitiv(「リフィニティブ」)が発表しており、著作権はリフィニティブに帰属しております。FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、同社が発表したFTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、米ドルベース)を委託会社にて円ベースに換算したものです。(以下同じ)。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		FTSEグローバルCBインデックス		新株予約権付社債 (転換社債) 組 入 比 率	優 先 証 券 組 入 比 率
	円	騰 落 率	(為替ヘッジなし、円ベース)	騰 落 率		
(期 首) 2025年1月30日	49,254	—	59,246	—	95.4	1.2
1月末	49,293	0.1	59,273	0.0	95.9	1.2
2月末	48,488	△ 1.6	57,153	△ 3.5	95.5	1.2
3月末	48,448	△ 1.6	56,872	△ 4.0	91.2	1.4
4月末	46,838	△ 4.9	54,789	△ 7.5	95.9	1.4
5月末	48,723	△ 1.1	57,572	△ 2.8	95.5	1.2
6月末	50,338	2.2	59,831	1.0	96.2	1.2
7月末	52,142	5.9	62,961	6.3	96.7	1.0
8月末	52,542	6.7	63,775	7.6	94.8	1.0
9月末	54,574	10.8	67,179	13.4	95.7	1.1
10月末	57,229	16.2	71,381	20.5	96.1	1.3
11月末	57,919	17.6	70,860	19.6	93.2	1.3
12月末	58,432	18.6	72,136	21.8	94.9	1.3
(期 末) 2026年1月30日	58,222	18.2	75,270	27.0	93.8	1.4

(注) 騰落率は期首比です。

(注) FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。

投資環境

◎CB市況

世界のCB市場動向を表わすFTSEグローバルCBインデックス(米ドルベース)は、前期末比で上昇しました。各国・地域のCBインデックスでは、全ての地域(アジア(除く日本、米ドルベース)、欧州(ユーロベース)、米国(米ドルベース)、日本(円ベース))が、前期末比で上昇しました。

◆期首から3月にかけては、米国の政策不透明感や経済成長への懸念のほか、貿易摩擦の激化を背景に、下落しました。

◆4月中旬以降は相互関税の一部90日間停止やFRB(米連邦準備制度理事会)議長解任懸念の後退を受けて上昇基調へ転じ、5月以降も、米国と他地域間での通商交渉の合意や中東情勢の沈静化、FRBの早期利下げ期待などを背景に上昇基調で推移しました。

◆8月から10月にかけては、堅調な経済指標や企業決算のほか、米中貿易摩擦の緩和などを背景に、上昇しました。

◆11月は、米政府機関の閉鎖解除後も経済データの発表がなく、景気の実態を見極めようとする様子見姿勢が広がったことで下落したものの、その後は地政学的な緊張が続く中でも金融・財政面での経済支援策や企業業績の成長期待から上昇し、投資家のリスク選好姿勢が継続したことが市場を下支えしました。

◎為替市況

為替市場は、当期において米ドルは対円でほぼ横ばいの水準となった一方で、ユーロは対円で上昇しました。

運用経過の説明

◎基準価額の推移

基準価額の騰落率は+18.2%となりました。



(注) FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

◎基準価額の主な変動要因

保有有価証券の売買益や多くの投資通貨が対円で上昇したことなどが基準価額を押し上げました。

◎ポートフォリオについて

セクター別では、テクノロジー、コミュニケーションや消費財(生活必需品)などがプラスに寄与しました。マイナスに寄与したセクターはありませんでした。各国・地域別では、アジア(除く日本)や北米などへの投資はパフォーマンスにプラスに寄与しました。マイナスに寄与した地域はありませんでした。

今後の見通しと運用方針

◎今後の見通し

- ◆企業利益の見通しは良好で、ほとんどの地域・業種で利益予想の上方修正が続いています。2025年の好調なグローバル株式市場を経て、ポジティブな材料は既に株価に織り込まれていると考えます。バリュエーションの更なる上昇余地は限定的であると見ている中で、過度に強気な見通しを持つことには慎重であるべきだと考えます。より大きなストーリーは、既に堅調な経済に対して、金融・財政政策による経済支援策がこれまで以上に講じられていることです。
- ◆2026年もグローバルの利益成長は堅調との見通しを維持し、主要産業グループ全体で約13.0%の利益成長を予想しています。米国においては、「マグニフィセント7」の利益成長も健全なものになると見込まれますが、特にS&P500構成銘柄のうち「マグニフィセント7」以外の企業は、ここ数年間はあまり伸びが見られなかったものの、12.2%の利益成長が見込まれます。我々の調査に基づくと、多くの業界でAI(人工知能)投資への関心が高まっているものの、現時点で実現している効果は限定的です。2026年もマクロ環境は不確実であると同時にボラティリティが高いことが予想されますが、長期投資家にとっては多くの投資機会を提供する可能性があります。運用チームは、長期的なファンダメンタルズから乖離した株価を持つ企業を特定するためにこの環境を活用しており、さらなる魅力的な投資機会が出現する可能性を注視しています。
- ◆CBは様々な理由から投資妙味が高い資産と考えます。第一に、金利水準、地政学的な緊張、インフレの高まりによる市場の変動性の高まりなどを背景とした資産クラスの割安感から、新規投資の好機となっています。第二に、CBは債券の特性により下落率が抑制される傾向にあることに加え、一般的な債券よりもスプレッドが大きく、デュレーションも短くなっています。また、CBにはオプション(株式に転換しうる権利)が組み入れられているため、デュレーション・リスクが大幅に低減されます。金利が上昇すると、債券部分は低下しますが、オプション部分の評価が上昇します。

◎今後の運用方針

世界各国のCBを主要投資対象とし、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的として運用を行います。

〇1万口当たりの費用明細

(2025年1月31日～2026年1月30日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.001
(優 先 証 券)	(1)	(0.001)
(b) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000
(優 先 証 券)	(0)	(0.000)
(c) そ の 他 費 用	34	0.065
(保 管 費 用)	(30)	(0.058)
(そ の 他)	(4)	(0.007)
合 計	35	0.066
期中の平均基準価額は、52,080円です。		

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2025年1月31日～2026年1月30日)

新株予約権付社債(転換社債)

		買 付		売 付	
		額 面	金 額	額 面	金 額
国内		千円	千円	千円	千円
		190,000	198,935	830,000	1,134,589
外 国	アメリカ	千米ドル 32,776	千米ドル 37,412	千米ドル 34,788 (2,693)	千米ドル 45,227 (2,693)
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	3,100	3,260	3,100	3,476
	フランス	3,200	3,358	3,215	4,253
	その他	3,400	3,678	5,400	5,811
	香港	千香港ドル 6,000	千香港ドル 7,010	千香港ドル 8,000 (4,000)	千香港ドル 7,888 (4,699)
	シンガポール	千シンガポールドル —	千シンガポールドル —	千シンガポールドル 500	千シンガポールドル 697

(注) 金額は受渡し代金です(経過利子分は含まれておりません)。なお、単位未満は切捨てです。

(注) 外国の内訳は、国、地域名または取引市場を記載しております。

(注) 下段に()がある場合は権利行使、予約権行使、償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

優先証券

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外 国	アメリカ	百証券 204	千米ドル 942	百証券 252	千米ドル 1,097

(注) 金額は受渡し代金です。なお、単位未満は切捨てです。

(注) 外国の内訳は、国、地域名または取引市場を記載しております。

○利害関係人との取引状況等

(2025年1月31日～2026年1月30日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2025年1月31日～2026年1月30日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2026年1月30日現在)

下記は、ワールド・CB・オープン・マザーファンド全体(1,647,589千円)の内容です。

国内新株予約権付社債(転換社債)

銘	柄	当 期 末	
		額 面 金 額	評 価 額
		千円	千円
レゾナック	ホールディングス 0% CB	30,000	61,452
関西ペイント	0% MAR31 CB	140,000	144,363
太陽誘電	0% OCT30 CB	50,000	52,813
日産自動車	1% JUL31 CB	100,000	114,428
SBIホールディングス	0% JUL31 CB	60,000	94,068
ANAホールディングス	0% DEC31 CB	70,000	78,141
合 計	額 面 金 額	450,000	545,267
	銘 柄 数 < 比 率 >	6	< 5.7% >

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。

外国新株予約権付社債(転換社債)

銘柄	当 期 末		
	額面金額	評 価 額	
	千円ドル	千円ドル	千円
(アメリカ)			
VENTAS 3.75% REIT CB	854	1,195	183,680
JAZZ 2% CB	741	820	126,105
CLOUDFLARE 0% CB	1,015	1,123	172,632
CENTERPOINT NRG 4.25% CB	757	843	129,564
GOLDMAN SACHS 0% 700 EB	300	508	78,148
ON SEMICON 0% CB	377	490	75,412
GOLDMAN SACHS 0% 1MTN EB	300	518	79,632
BOFA FIN 0.6% MTN CB	385	425	65,441
SOUTHERN CO 4.5% CB	1,629	1,749	268,832
TRIP.COM GROUP 1.5% EB	512	701	107,866
SHITF4 PAYMENTS 0.5% CB	285	275	42,348
STMICRO 0% B CB	400	392	60,259
AKAMAI TECH 0.375% CB	772	827	127,125
ALNYLAM PHARMACE 1% CB	184	246	37,853
NUTANIX INC 0.25% CB	354	364	55,995
PG&E 4.25% CB	534	542	83,339
LANTHEUS HLDGS 2.625% CB	151	172	26,538
EVERGY INC 4.5% CB	433	549	84,370
XIAOMI BEST TIME 0% CB	300	341	52,447
INTEGER HOLDIN 2.125% CB	288	340	52,337
EXACT SCIENCES 0.375% CB	854	881	135,406
DROPBOX 0% CB	1,105	1,098	168,743
MORGAN STANLEY0% 0001 EB	1,000	1,512	232,426
CMS ENERGY 3.375% CB	1,070	1,150	176,749
MERITAGE HOMES 1.75% CB	701	711	109,384
IONIS PHARMACEUT1.75% CB	283	470	72,264
LG CHEM LTD 1.75% CB	300	385	59,221
HALOZYME 1% CB	951	1,345	206,681
CITIGROUP GLOB 0% 388 EB	300	336	51,650
GOLDMAN SACHS 0% * EB	800	762	117,238
REPLIGEN CORP 1% CB	190	205	31,622
LIVE NATION 3.125% CB	203	302	46,528
BARCLAYS BK 1% MSFT EB	2,070	2,135	328,108
PARSONS CORP 2.625% CB	351	378	58,169
LYFT INC 0.625% CB	272	313	48,146
RIVIAN AUTO IN 4.625% CB	640	686	105,498
JD.COM INC 0.25% CB	700	708	108,912
WEC ENERGY GRO 4.375% CB	812	972	149,400
TRIP.COM GROUP 0.75% CB	268	305	46,947
PING ANINSURANCE0.875%CB	600	1,088	167,199

銘柄	当 期 末		
	額面金額	評 価 額	
	千円ドル	千円ドル	千円
FLUOR CORP 1.125% CB	207	257	39,639
IRHYTHM TECHNOLO 1.5% CB	184	229	35,265
QUANTA COMPUTER 0% CB	400	414	63,747
GUIDEWIRE SOFTW 1.25% CB	569	558	85,884
DATADOG INC 0% CB	626	616	94,708
RIOT PLATFORMS 0.75% CB	111	156	24,029
COINBASE GLOBAL 0.25% CB	1,632	1,605	246,753
MKS INC 1.25% CB	529	915	140,639
GRAB HOLDINGS LTD 0% CB	734	749	115,175
CLEANSARK INC 0% CB	133	157	24,156
ITRON INC 1.375% CB	787	841	129,246
JAZZ INVESTMEN 3.125% CB	547	712	109,519
MMG LTD 0% CB	200	300	46,158
MICROSTRATEGY 0.875% CB	305	312	48,067
ALIBABA GROUP 0.5% CB	447	805	123,704
XERO 1.625% CB	385	367	56,415
QIAGEN NV 2.5% CB	800	935	143,732
BAIDU INC 0% EB	1,200	1,178	181,048
小 計	額 面 ・ 金 額	33,837	39,295
	銘柄数<比率>	58	—
(ユーロ・・・ドイツ)	千ユーロ	千ユーロ	千円
FRESENIUS 0% CB	700	679	124,682
RAG-STIFTUNG 1.875% EB	400	399	73,166
VONOVIA SE 0% A CB	700	681	124,930
TUI AG 1.95% CB	200	247	45,333
DEUTSCHE LUFTHANSA 0% CB	300	319	58,631
MTU AERO ENGINES A 0% CB	500	503	92,230
小 計	額 面 ・ 金 額	2,800	2,830
	銘柄数<比率>	6	—
(ユーロ・・・フランス)	千ユーロ	千ユーロ	千円
ACCOR SA 0.7% CB	216	249	45,733
VINCI SA 0.7% CB	1,300	1,350	247,704
SCHNEIDER ELE1.97%SUFPB	1,300	1,668	305,990
CARA OBLIGATIONS 1.5% EB	500	586	107,542
EURONEXT NV 1.5% CB	400	388	71,226
LEGRAND SA 1.5% CB	800	882	161,768
小 計	額 面 ・ 金 額	4,516	5,126
	銘柄数<比率>	6	—
(ユーロ・・・その他)	千ユーロ	千ユーロ	千円
SIMON GLOBAL3.5% REIT EB	100	118	21,690

銘 柄		当 期 末		
		額面金額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ・・・その他)		千ユーロ	千ユーロ	千円
IBERDROLA 0.8% IBE CB		300	433	79,461
CITIGROUPGLOBAL0%GMTN EB		600	637	116,865
INTL AIR 1.125% IAG CB		300	443	81,281
ANLLIAN CAPITAL 2 0% CB		1,400	1,386	254,175
CITIGROUPGLOBAO.8%GMTNEB		1,100	1,189	218,059
GOLDMAN SACHS FI 0% . EB		200	278	51,048
小 計	額 面 ・ 金 額	4,000	4,486	822,582
	銘柄数<比率>	7	—	<8.6%>
ユ ー ロ 計	額 面 ・ 金 額	11,316	12,442	2,281,523
	銘柄数<比率>	19	—	<23.8%>
(香港)		千香港ドル	千香港ドル	千円
CHOW TAI FOOK 0.375% CB		4,000	4,449	87,568

銘 柄		当 期 末		
		額面金額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
		千香港ドル	千香港ドル	千円
ALIBABA GROUP HOLD 0% CB		2,000	2,540	50,001
小 計	額 面 ・ 金 額	6,000	6,990	137,569
	銘柄数<比率>	2	—	<1.4%>
合 計	額 面 ・ 金 額	—	—	8,457,222
	銘柄数<比率>	79	—	<88.2%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) ()内には、各証券の発行通貨の国、地域名または取引市場を記載しております。ただし、ユーロの場合は当該有価証券の発行地または取引市場の国または地域名を記載しております。うち、ユーロ圏以外の発行地または取引市場の国または地域名については、「ユーロ・・・その他」の欄に記載しております。

優先証券

銘柄		期首(前期末)	当 期 末		業 種 等
			証券数	評 価 額	
				外貨建金額 邦貨換算金額	
(アメリカ・・・ニューヨーク市場)		百証券	百証券	千米ドル	千円
NEXTERA ENERGY 6.926% PFD		212	—	—	—
NEXTERA ENERGY INC 7.234% PFD		—	164	855	131,508
合 計	証 券 数 ・ 金 額	212	164	855	131,508
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<1.4%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 邦貨換算金額欄の< >内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 証券数・評価額の単位未満は切捨てです。
(注) 証券数に—印がある場合は組入れなしを表します。
(注) ()内には、各証券の発行通貨の国、地域名または取引市場を記載しております。

○投資信託財産の構成

(2026年1月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
新株予約権付社債(転換社債)	9,002,490	92.7
優先証券	131,508	1.4
コール・ローン等、その他	572,945	5.9
投資信託財産総額	9,706,943	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注) 当期末における外貨建純資産(8,973,507千円)の投資信託財産総額(9,706,943千円)に対する比率は92.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル＝153.66円、1ユーロ＝183.36円、1英ポンド＝211.74円、1スイスフラン＝200.31円、1スウェーデンクローネ＝17.41円、1ノルウェークローネ＝16.08円、1オーストラリアドル＝107.96円、1香港ドル＝19.68円、1シンガポールドル＝121.30円、1南アフリカランド＝9.73円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2026年1月30日現在)

○損益の状況

(2025年1月31日～2026年1月30日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	9,806,943,426
コール・ローン等	352,152,023
公社債(評価額)	9,002,490,103
優先証券(評価額)	131,508,600
未収入金	298,139,961
未収利息	20,295,156
前払費用	2,357,583
(B) 負債	214,397,258
未払金	208,574,138
未払解約金	5,823,120
(C) 純資産総額(A－B)	9,592,546,168
元本	1,647,589,693
次期繰越損益金	7,944,956,475
(D) 受益権総口数	1,647,589,693口
1万口当たり基準価額(C／D)	58,222円

<注記事項>

期首元本額	2,263,583,849円
期中追加設定元本額	126,565,901円
期中一部解約元本額	742,560,057円

元本の内訳

JPMワールド・CB・オープン	1,647,589,693円
-----------------	----------------

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	109,709,873
受取配当金	7,720,087
受取利息	101,933,971
その他収益金	55,815
(B) 有価証券売買損益	1,661,030,174
売買益	2,253,933,381
売買損	△ 592,903,207
(C) その他費用等	△ 7,026,945
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	1,763,713,102
(E) 前期繰越損益金	8,885,543,201
(F) 追加信託差損益金	512,165,859
(G) 解約差損益金	△3,216,465,687
(H) 計(D＋E＋F＋G)	7,944,956,475
次期繰越損益金(H)	7,944,956,475

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<約款変更のお知らせ>

・2025年4月1日付で、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、信託約款に所要の変更を行っております。